

① 菜の花ばたけに 入り日うすれ

見わたす山のは かすみふかし

春風そよふく 空を見れば

夕月かかりて においあわし

② 里わのほかげも 森の色も

田中のこみちを たどる人も

かわずのなくねも かねの音も

さながらかすめる おぼろ月夜